



新さっぽろ駅周辺地区 まちづくり計画

【資料編】

- ① 計画策定までの経緯
- ② まちづくりワークショップ
- ③ まちづくり検討委員会
- ④ アンケート調査
- ⑤ パブリックコメント

第1回ワークショップ

日時:平成25年7月31日(水)14:00~16:30

場所:厚別区民センター 区民ホール

参加者:あつべつ区民協議会12名、単位町内会長4名、北星学園大学学生4名

内容:「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」策定の背景と進め方や、新さっぽろ駅周辺と厚別区の現状などを紹介し、まちづくりの方向性と必要な機能などについて議論を行った。

第2回ワークショップ

日時:平成25年11月5日(火)10:00~12:00

場所:厚別区役所2階 A会議室

参加者:あつべつ区民協議会15名、単位町内会長4名、北星学園大学学生2名

内容:アンケート調査実施に向けて、新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりの方向性と必要な機能について整理した。

第3回ワークショップ

日時:平成26年3月3日(月)10:00~12:00

場所:厚別区役所2階 A会議室

参加者:あつべつ区民協議会15名、単位町内会長2名、北星学園大学学生2名

内容:アンケート調査結果を踏まえ、新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりの方向性と必要な機能について、最終的な意見のまとめを行った。

第4回ワークショップ

日時:平成26年7月31日(木)10:00~11:00

場所:厚別区役所2階 A会議室

参加者:あつべつ区民協議会19名、単位町内会長3名

内容:まちづくり計画の策定状況についての報告を行った。

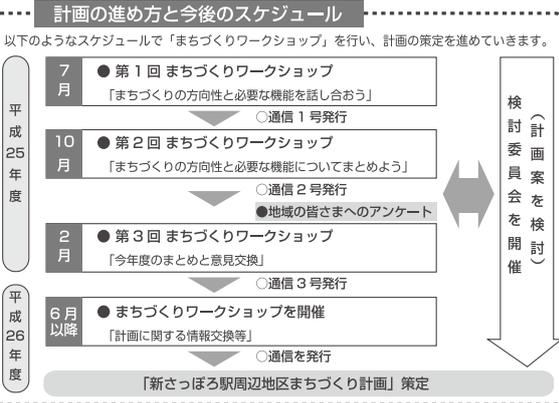
第5回ワークショップ

日時:平成26年12月19日(金)10:00~11:00

場所:新札幌駅隣接商業施設(duo1)6階 大会議室

参加者:あつべつ区民協議会16名、単位町内会長3名、その他1名

内容:まちづくり計画(案)についての報告を行った。



新さっぽろ駅周辺地区まちづくりワークショップ通信 第1号

2013年9月

◆「新さっぽろ駅周辺地区まちづくりワークショップ」の報告とお知らせ◆ 発行：札幌市都市局 市街地整備課

「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」を策定します

新さっぽろ駅周辺は、地下鉄やJR等の交通が充実し、周辺地域の拠点として札幌市の中でも重要な地区の1つとなっています。また、市営住宅下野幌団地の建替え(G・IをHに集約)による余剰地が発生することから、それらの活用を含めた一体的なまちづくり方針を定めていく必要があります。

札幌市では、平成25・26年度にかけて地域の皆さまとの意見交換会(まちづくりワークショップ)を行い、並行して学識経験者を中心とした「検討委員会」を設置して、地域の皆さんの生活に密着したご意見と専門的な提案を総合的に検討しながら、「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」を策定いたします。



(計画の進め方と今後のスケジュールは4頁で紹介)

「まちづくりワークショップ」を行っています



計画の策定に向けて「まちづくりワークショップ」を開催して意見交換を行っています。

第1回目は7月31日に厚別区民センターで行いました。今年度は3回の開催を予定しています。

第1回目の内容は、裏面2~3頁で詳しくご紹介いたします！

「まちづくりワークショップ」には、「あつべつ区民協議会」の皆さん、対象地区の単位町内会長の皆さん、北星学園大学の学生さんにご協力いただいております。その他にも広く地域の皆さまからのご意見をいただけるように情報提供を行いますので、本通信裏面のハガキや札幌市ホームページを通じて、ぜひご意見をお寄せ下さい。

●ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/kyoten/shinsapporo.html>

〒060-0878 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市都市局 市街地整備課 市街地整備課 行

郵便はがき
料金受取人払郵便 060-8788

札幌中央郵便 945
発出有効期限 平成27年3月31日まで (切手不要)

〒060-0878 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市都市局 市街地整備課 市街地整備課 行

■よろしければ、ご連絡先をお書きください。

お名前: _____
ご住所: _____
TEL: () _____

※お預かりした個人情報、本計画に関する情報提供以外の目的では使用いたしません

皆さまの声をお聞かせください！

計画の策定に向けて、今後も地域の皆さまへの情報提供を行っていきます。ご意見やご質問等ございましたら、左のハガキにご記入いただくか下記までご連絡下さい。また、今年度中に皆さまのご意見を伺うためのアンケート調査も予定しておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】
札幌市都市局市街地整備課市街地整備課
ホームページ: <http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/kyoten/shinsapporo.html>
メール: shigaichiseibikei@city.sapporo.jp
担当: 牧野・長南 (おさなみ)
TEL: 011-211-2706
FAX: 011-218-5176

第1回まちづくりワークショップ

日時: 平成25年7月31日(水) 午後2時~4時30分
場所: 厚別区民センター ホール

「あつべつ区民協議会」委員の皆さん12名、対象地区単位町内会長4名、北星学園大学の学生さん4名の計20名にご参加いただき、第1回目の「まちづくりワークショップ」を開催しました。

計画の概要と厚別区の人ロデータや施設配置等を紹介した後、新さっぽろ駅周辺のまちづくりについての意見交換を行いました。

- ### 話し合いの前に
- 厚別区に関連する様々なデータを紹介しました
- 厚別区の人ロ総数は129,977人、世帯数は62,445人(住民基本台帳H25.7.1より)
 - 札幌市全体の平均年齢が45.3歳、厚別区は46.5歳→南区に次いで2番目に高い
 - 年少人口増加率、生産人口増加率(H19→H24)→南区に次いで2番目に低い
 - 後期老年人口増加率(H19→H24)→札幌市27.2%、厚別区34.2%→一番高い
- 地図と写真で新さっぽろ駅周辺に様々な施設が配置されていることを確認しました

新さっぽろ駅周辺地区の「まちづくりの方向性」と「必要な機能(施設)」について話し合いました！

3つのグループに分かれて話し合い、様々な意見が交わされました。概要をご紹介します。

- 様々な世代が集い、交流できるまちに！
 - ・大人数が集まれて、規制が少なく多目的ホール
 - ・お年寄りや疲れた程度に子どもの笑顔にふれられるような、間仕切りを自由に動かせる建物(複合施設)
 - ・市民の交流や家族の交流の場になるような大きな緑地公園
 - ・人々が集い、街の景観を楽しむオープンカフェ
- 高齢者がいきいき過ごせるまちに！
 - ・高齢者が生きがいを持って楽しめるまち
 - ・高齢者が楽しめるサロンや人のために活動できるシステム
 - ・お年寄りだけで気軽に集まれる場「シルバーターミナル」
- 子どもたちがのびのび遊び、学べるまちに！
 - ・20~30m角の三角ペースができる広さの遊び場所(公園)
 - ・青少年科学館周辺に子どもの広場
 - ・G団地余剰地を活用した青少年科学館につながる知的な施設
- 若者が住みたいまちに！
 - ・家賃の安いアパート
 - ・市営住宅に入居できるようにする
 - ・若い人が働く場
 - ・学生が集団で来る安い居酒屋
 - ・カラオケやライブハウス
- 安心して子育てできるまちに！
 - ・子育て支援最先端のまちに
 - ・子どもを預けて仕事するための保育施設、学童保育施設
- 文化機能の充実したまちに！
 - ・コンサートができるような文化ホール
 - ・既存の施設をもっと活用するための機能や施設
- 観光客が降り立つまちに！
 - ・観光客のための親切な案内標識
 - ・「新さっぽろにはこれがあ！」という名物
- 市民の活動拠点のあるまちに！
 - ・区民センターをより機能を充実させた生涯教育と市民活動促進のための施設にする(ちえりあ、エルプラザのような)
 - ・サンピアザ劇場など既存の施設をもっと使いやすくなる
- 歩いて回遊できるまちに！
 - ・安全で分かりやすく誰もが歩いて動ける地区
 - ・公共交通や各施設との歩行アクセスをわかりやすく
 - ・2階レベルで施設間を行き来できるようにする
 - ・買い物客にわかりやすい案内標識
- 駐車場や駐輪場がしっかりと整理されたまちに！
 - ・区役所を利用するときなどに使える公共駐車場
 - ・公共交通への乗り換えに便利な駐車場と、自家用車での送迎のための乗降スペース
 - ・広く充実した駐車スペース
 - ・青少年科学館利用の大型バスの駐車場
 - ・屋根付自転車ラックもしっかりとした駐輪場
- まちの正面がある、わかりやすいまちに！
 - ・まちの正面となり、案内ができる駅前広場
 - ・ランドマークとなる施設
- 医療の機能が充実したまちに！
 - ・最先端の医療(看護)施設
 - ・医療施設の情報ネットワーク化
- 計画を進める上でのご意見
 - ・市営住宅跡地は、2つのうち1つは売却でも1つは市民要望を受ける市の施設にしてほしい
 - ・周辺の道路整備や土地利用の見直しも必要
 - ・50年先をみて計画することが大切

ご意見をお寄せ下さい！

話し合いの概要をご覧になった皆さまから「新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりの方向性と必要な機能(施設)」についてのご意見をいただきたいと考えています。ぜひ、下のハガキでお声をお寄せ下さい！

新さっぽろ駅周辺のまちづくりについてのご意見やご質問を記入の上、投函して下さい。お寄せいただいたご意見は、計画づくりの参考にさせていただきます。

〒060-0878 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市都市局 市街地整備課 市街地整備課 行

郵便はがき
料金受取人払郵便 060-8788

札幌中央郵便 945
発出有効期限 平成27年3月31日まで (切手不要)

〒060-0878 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市都市局 市街地整備課 市街地整備課 行

■よろしければ、ご連絡先をお書きください。

お名前: _____
ご住所: _____
TEL: () _____

※お預かりした個人情報、本計画に関する情報提供以外の目的では使用いたしません

「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」について

新さっぽろ駅周辺は、地下鉄やJR等の交通が充実し、周辺地域の拠点として札幌市の中でも重要な地区の1つとなっています。

札幌市では、平成25・26年度にかけて地域の皆さんとの意見交換会(まちづくりワークショップ)を行い、並行して学識経験者を中心とした「検討委員会」を設置して、地域の皆さんの生活に密着したご意見と専門的な提案を総合的に検討しながら、「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」を策定いたしました。



新さっぽろ駅周辺地区まちづくりワークショップ通信 第2号

第2号

2013年12月

◆新さっぽろ駅周辺地区まちづくりワークショップの報告とお知らせ◆ 発行：札幌市都市局 市街地整備課

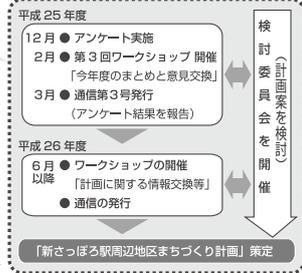
「第2回まちづくりワークショップ」を開催しました！



第1回ワークショップで検討した、新さっぽろ駅周辺地区の「まちづくりの方向性と必要な機能」について議論を深め、アンケート調査に向けて、内容を整理しました。

今後のすめかた

右のようなスケジュールで、計画の策定を進めていきます。



Postage stamp area with a 945 stamp and return address: 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市都市局 市街地整備課 市街地整備課 行

計画の策定に向けて、今後も地域の皆さまへの情報提供を行っていきます。ぜひ、本通信2ページから3ページのアンケートにもご協力ください。

お問い合わせ先

札幌市都市局市街地整備課市街地整備課
ホームページ: http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/kyoten/shinsapporo.html
メール: shigaichiselb-kei@city.sapporo.jp

「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」に関連するアンケートにご協力ください！



ワークショップで検討した「まちづくりの方向性と必要な機能」のまどめに対して、さらに多くのご意見をうかがうためのアンケート調査を行います。

これからの新さっぽろ駅周辺には、どんな場所やどんなことが必要？



アンケートは、裏面の2ページから3ページに掲載しています。ぜひ、回答欄(ハガキ)にご記入のうえ、投函して下さい！

◆「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」については、4ページをご覧ください◆

新さっぽろ駅周辺地区 まちづくりアンケート

これからの新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能について、ご意見をうかがう内容のアンケートです。以下の1~3の質問の回答を右下の回答欄(ハガキ)にご記入の上、12月20日(金)までにご投函ください。

- アンケートは、「まちづくりワークショップ」の議論をもとに作成いたしました。
●結果は、「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」策定の参考にいたします。
●結果の概要は、本通信の第3号(3月発行予定)でご紹介いたします。

ご協力をよろしくお願いいたします！



質問1▶あなた自身のことについて、教えてください。【年齢】【性別】【居住地区】について、下記の中から当てはまる番号を、右下の回答欄にお書きください。

【年齢】①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代 ⑧80歳代以上 【性別】①男性 ②女性

【居住地区】①厚別中央 ②厚別東 ③厚別西 ④厚別南 ⑤厚別北 ⑥もみじ台 ⑦青葉町 ⑧大谷地 ⑨上野幌 ⑩下野幌 ⑪厚別町(上野幌・下野幌・山本) ⑫その他(区、市町村)

質問2▶これからの新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能(場所やしくみ)について、下記の1~24の中から特に重要だと思われるものを3つ選んで、その番号をお書きください。

- <様々な世代の人々が楽しく集い、交流できるまちに！>
1 子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設
2 多くの人を収容できて、多目的に使えるホール
3 かつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ
4 「ふれあい広場あつぽつ」をもっと広くして、使いやすくする
<若い世代が暮らしやすいまちに！>
5 学生や若者の住まいの充実
6 子育て世帯が入居しやすくなるような、市営住宅のルール作り
7 安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実
<子ども達がのびのび遊び、学生が集うまちに！>
8 「青少年科学館」周辺を、さらに充実した子どもの教育のための場にす
9 子ども達がボール遊びをできるように広さの公園
10 高校生や大学生のサークルなどの活動拠点や、交流のためのスペース
<お年寄りが、安心して生き生きと暮らせるまちに！>
11 お年寄りが生きがいをもって活動できる拠点やしくみ
12 お年寄りが気軽に集ってお茶を飲み、おしゃべりできるようなスペース
13 医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなくみ
<文化機能が充実した、市民の活動拠点があるまちに！>
14 コンサートや演劇が楽しめる文化施設
15 生涯教育や市民活動促進のためのスペース
16 今ある施設の使いやすさを高めて、文化活動や市民活動に活用する
<訪れた人々に親切で、わかりやすいまちに！>
17 買い物客や観光客にもわかりやすく親切な案内標示
18 「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする
19 新さっぽろの「まちの顔」となるような、駅につながる広場
<歩いて回遊できる、誰もが歩きやすいまちに！>
20 2階レベルで周辺施設をつなぐ、幅の広い歩行者通路
21 誰もが安心して歩けるように、バリアフリー化の充実
<駐車場や駐輪場が整備された、公共交通を利用しやすいまちに！>
22 自家用車から公共交通へ乗り換えるための、大きな規模の駐車場
23 自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保
24 設備のしっかりした、自転車駐輪場

下の回答欄(ハガキ)に回答をご記入の上、12月20日(金)までにご投函ください！

回答欄

Survey form with fields for age, gender, residence, and question 2 answers. Includes a return address area and a free text box for question 3.

*上記の<>内の8つのタイトルは、ワークショップでまとめた新さっぽろ駅周辺地区の「まちづくりの方向性」です。これらの方向性について、「必要な機能」を24項目に整理しました。

質問3▶上記の「新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能」の項目以外に、ご意見がございましたらご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました！

③ まちづくり検討委員会

まちづくり検討委員会については、北星学園大学教授を中心に、(株)日本政策投資銀行、(株)札幌副都心開発公社、ワークショップからの代表者2名、札幌市の関係機関がメンバーとなり開催いたしました。

ワークショップと並行して行い、地域の課題や要望を参考に、行政的・専門的な観点から計画案の策定を行いました。

(1) まちづくり検討委員

座長	鈴木 克典	北星学園大学 経営情報学科 教授
委員	大原 昌明	北星学園大学 経営情報学科 教授
	田中 昭夫	[新さっぽろ駅周辺地区]まちづくりワークショップ代表(公益社団法人 札幌市子ども会育成連合会 厚別区支部長)
	松山 瑞穂	[新さっぽろ駅周辺地区]まちづくりワークショップ代表(厚別中央地区まちづくり会議 幹事長)
	遠藤 健	株式会社 日本政策投資銀行北海道支店 企画調査課長
	菊池 洋紀	株式会社 日本政策投資銀行北海道支店 企画調査課長 ※1
	川尻 寿彦	株式会社 札幌副都心開発公社 取締役
	西 紀雄	札幌市 環境局 みどりの推進部 造園担当課長
	阿部 克巳	札幌市 環境局 みどりの推進部 造園担当課長 ※2
	山本 真司	札幌市 厚別区 市民部 地域振興課長
事務局	坪田 靖	札幌市 都市局 市街地整備部 市街地整備課長

※1 第4回目より遠藤委員の後任として参加 ※2 第3回目より西委員の後任として参加

第1回 検討委員会

日 時:平成25年9月24日(火) 10:00~12:00 場 所:札幌市役所本庁舎 12階5号会議室
議 題:新たな計画策定の背景と過去の経緯を確認し、新たな計画の検証要素等を考える

第2回 検討委員会

日 時:平成26年2月3日(火) 14:00~16:00 場 所:札幌市役所本庁舎 14階1号会議室
議 題:ワークショップでまとめられた意見の考察と、計画構成についての検討

第3回 検討委員会

日 時:平成26年7月11日(金) 10:00~12:00 場 所:札幌市役所本庁舎 8階1号会議室
議 題:まちづくり計画(素案)についての検討

第4回 検討委員会

日 時:平成26年10月2日(木) 14:00~15:00 場 所:札幌市役所本庁舎 8階1号会議室
議 題:まちづくり計画(案)についての検討

第5回 検討委員会

日 時:平成27年2月27日(金) 10:00~11:00 場 所:厚別区役所 2階C会議室
議 題:まちづくり計画(案)についての検討(パブリックコメントを受けて)

④ アンケート調査

アンケート調査は、本計画の策定にあたり、ワークショップで検討整理された「新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりの方向性と必要な機能」について、さらに多くの地域住民の意見を把握することを目的に実施しました。

(1) 調査期間

平成25年12月6日(金)～12月20日(金)

(2) 調査対象者と調査方法

【対象】

- ① 18歳以上の厚別区民1,000人（住民基本台帳から無作為に抽出）
- ② 区内の主な公共施設に配架した「ワークショップ通信」からの返信
- ③ ワorkshop参加者
- ④ 北星学園大学学生

【方法】

- ① 案内文・アンケート調査表と返信用はがきを同封のうえ、郵送
- ② 「ワークショップ通信2号」にアンケートと回答用紙（ハガキ）を掲載し、厚別区役所・まちづくりセンターなどに配架
- ③ ワorkshop通信第2号を郵送
- ④ 講義の際にアンケート調査表を配布

(3) 回収結果

対象者	配布人数(人)	回収人数(人)	回収率(%)
①無作為抽出の厚別区民	1,000	343	34.3
②配架通信からの返信	—	28	—
③ワークショップ参加者	35	19	54.3
④北星学園大学生	—	149	—

質問1：年齢・性別・居住地

質問2：

これからの新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能（場所や仕組み）について、下記の1～24の中から特に重要だと思われるものを3つ選んで、その番号を回答欄にお書きください

<様々な世代の人々が楽しく集い、交流できるまちに！>

1	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設
2	多くの人を収容できて、多目的に使えるホール
3	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ
4	「ふれあい広場あつべつ」をもっと広くして、使いやすくする

<若い世代が暮らしやすいまちに！>

5	学生や若者の住まいの充実
6	子育て世帯が入居しやすくなるような、市営住宅のルール作り
7	安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実

<子ども達がのびのび遊び、学生が集うまちに！>

8	「青少年科学館」周辺を、さらに充実した子どもの教育のための場にする
9	子ども達がボール遊びをできるような広さの公園
10	高校生や大学生のサークルなどの活動拠点や、交流のためのスペース

<お年寄りが、安心して生き生きと暮らせるまちに！>

11	お年寄りが生きがいをもって活動できる拠点やしくみ
12	お年寄りが気軽に集ってお茶を飲み、おしゃべりできるようなスペース
13	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなくみ

<文化機能が充実した、市民の活動拠点があるまちに！>

14	コンサートや演劇が楽しめる文化施設
15	生涯教育や市民活動促進のためのスペース
16	今ある施設の使いやすさを高めて、文化活動や市民活動に活用する

<訪れた人々に親切で、わかりやすいまちに！>

17	買い物客や観光客にもわかりやすく親切な案内標示
18	「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする
19	新さっぽろの「まちの顔」となるような、駅につながる広場

<歩いて回遊できる、誰もが歩きやすいまちに！>

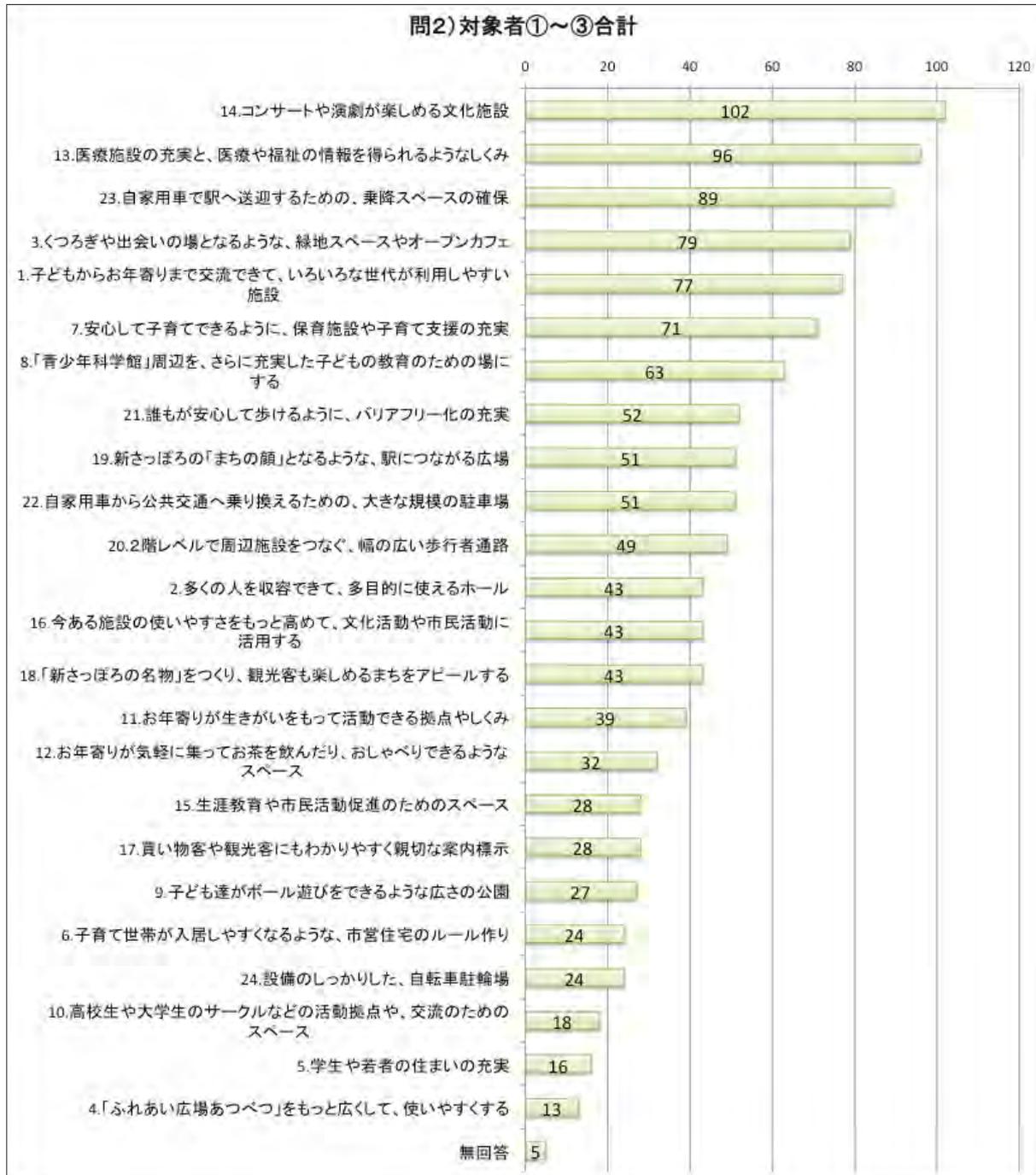
20	2階レベルで周辺施設をつなぐ、幅の広い歩行者通路
21	誰もが安心して歩けるように、バリアフリー化の充実

<駐車場や駐輪場が整備された、公共交通を利用しやすいまちに！>

22	自家用車から公共交通へ乗り換えるための、大きな規模の駐車場
23	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保
24	設備のしっかりした、自転車駐輪場

◆上記の < > 内の8つのタイトルは、ワークショップでまとめた新さっぽろ駅周辺地区の「まちづくりの方向性」です。これらの方向性について、「必要な機能」を24項目に整理しました。

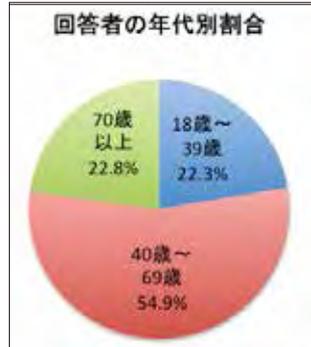
質問1の各対象者の属性を考慮し、対象者①～③を合計して地域住民の意見として集計し、④の北星学園大学学生の意見は別途集計した。



(単位：件)

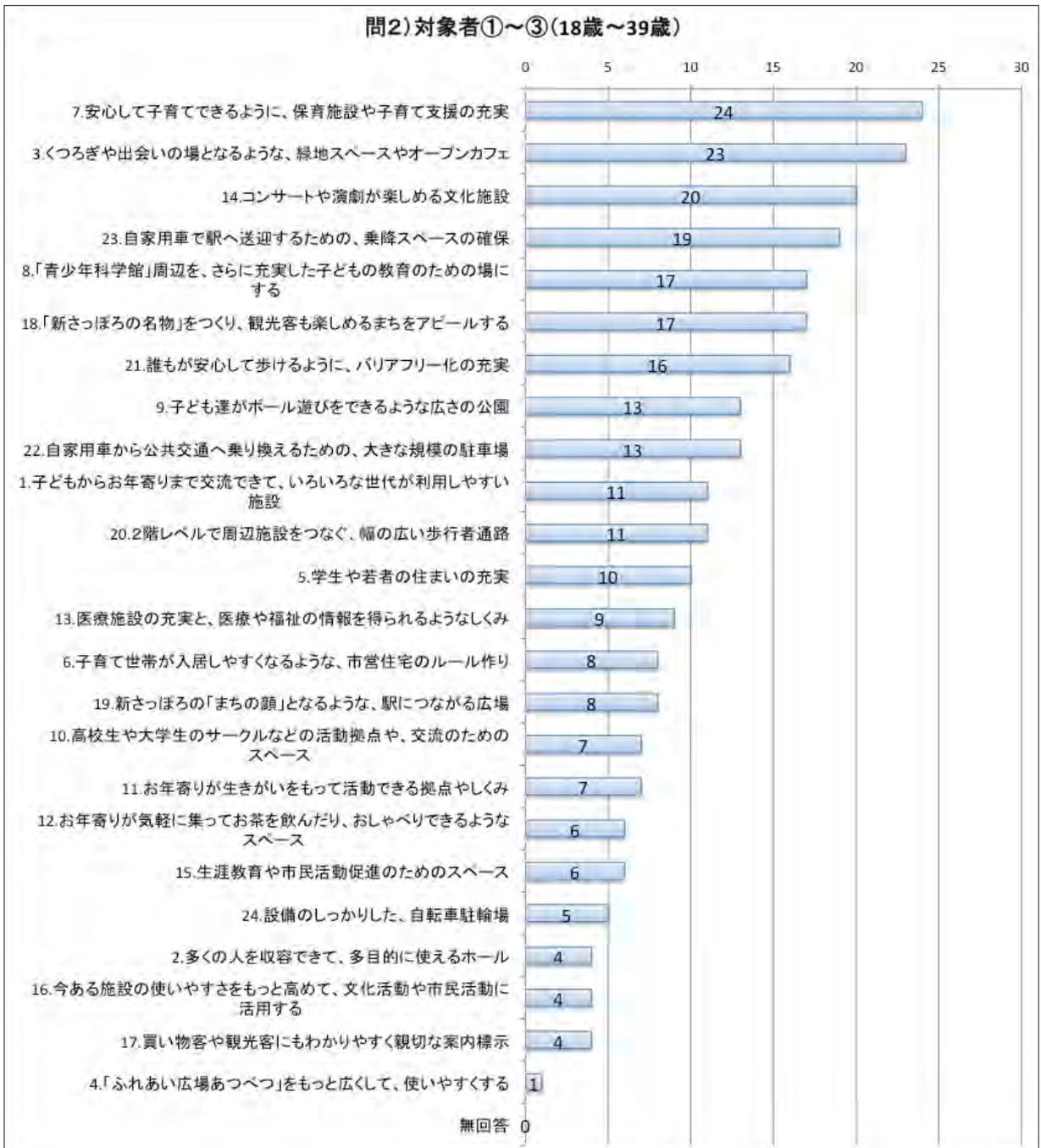
【対象者①～③年代別の集計結果】

対象者①～③の回答について、年代別（18歳～39歳）（40歳～69歳）（70歳以上）に集計した。厚別区の年代別の人口割合と比較すると、5歳刻みのため誤差があるが、18歳～39歳がやや少なくなっている。18歳～39歳では「安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実」、40歳～69歳では「コンサートや演劇が楽しめる文化施設」、70歳以上では「医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ」が最も多く選択された。



○18歳～39歳の集計結果

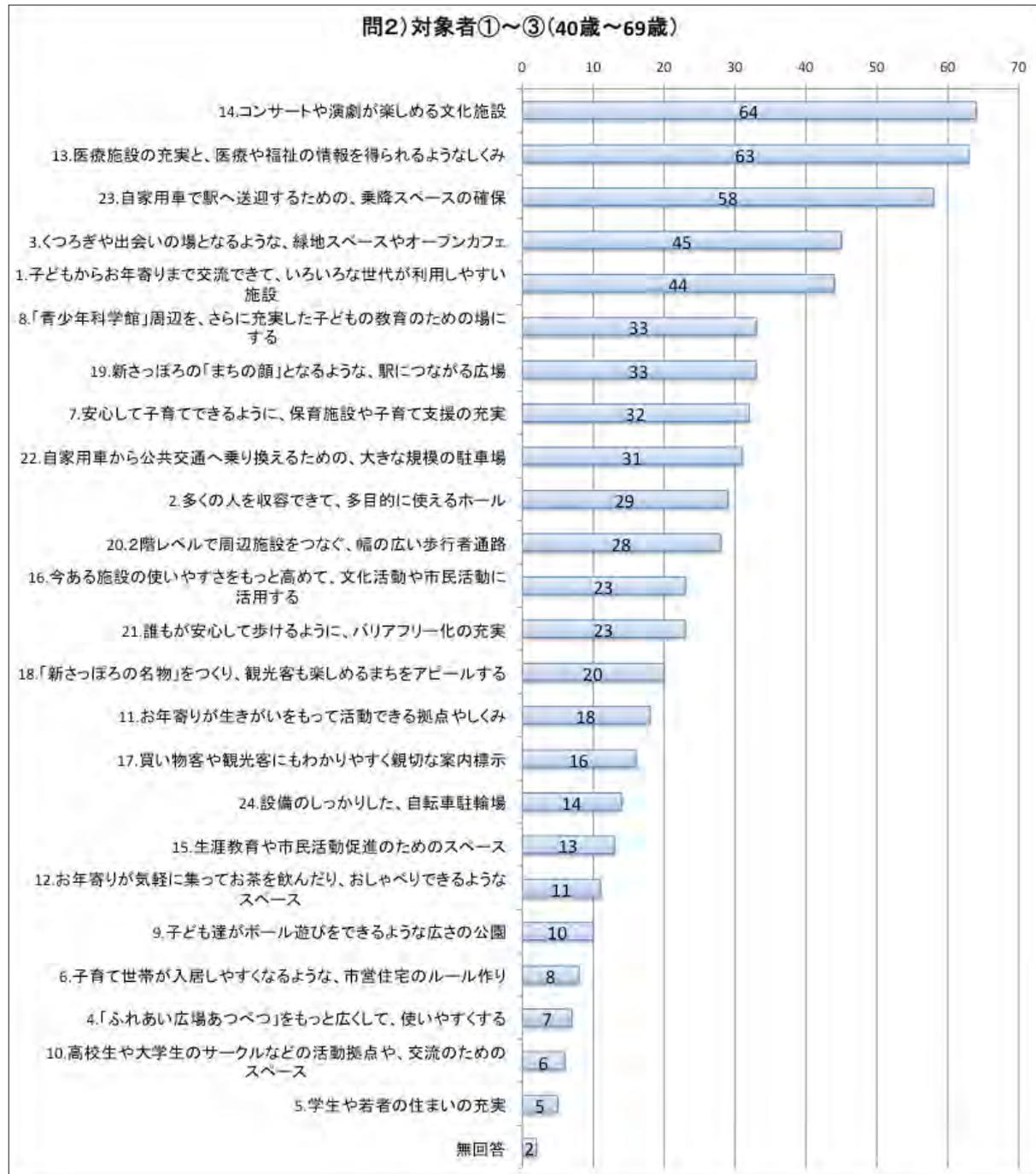
回答者数87人、回答件数合計263件
(3件未回答を含む)



(単位：件)

○40歳～69歳の集計結果

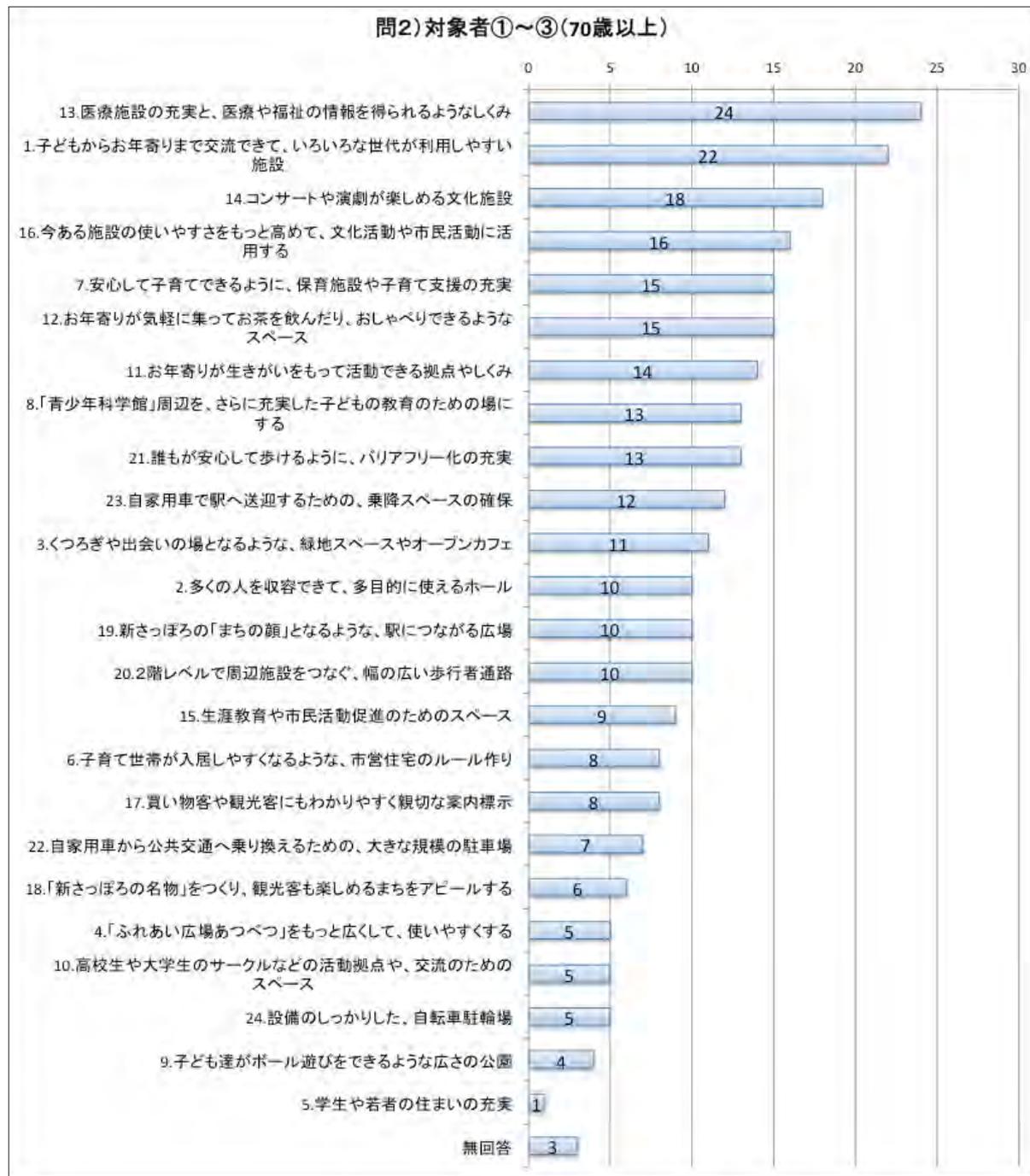
回答者数 214 人、回答件数合計 636 件（3 件未満選択回答を含む）



(単位：件)

○70歳以上の集計結果

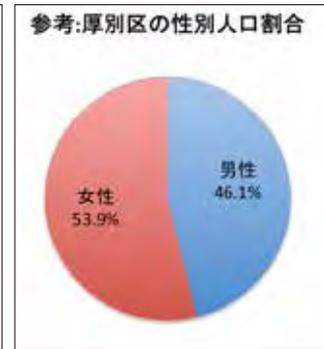
回答者数 89人、回答件数合計 264件（3件未満選択回答を含む）



(単位：件)

【対象者①～③男女別の集計結果】

対象者①～③の回答について、男女別に集計した。回答者は女性がやや多いが、厚別区の性別人口割合とほぼ同じ割合であった。男性では「コンサートや演劇が楽しめる文化施設」、女性では「医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ」が最も多く選択された。



○**男性の集計結果**

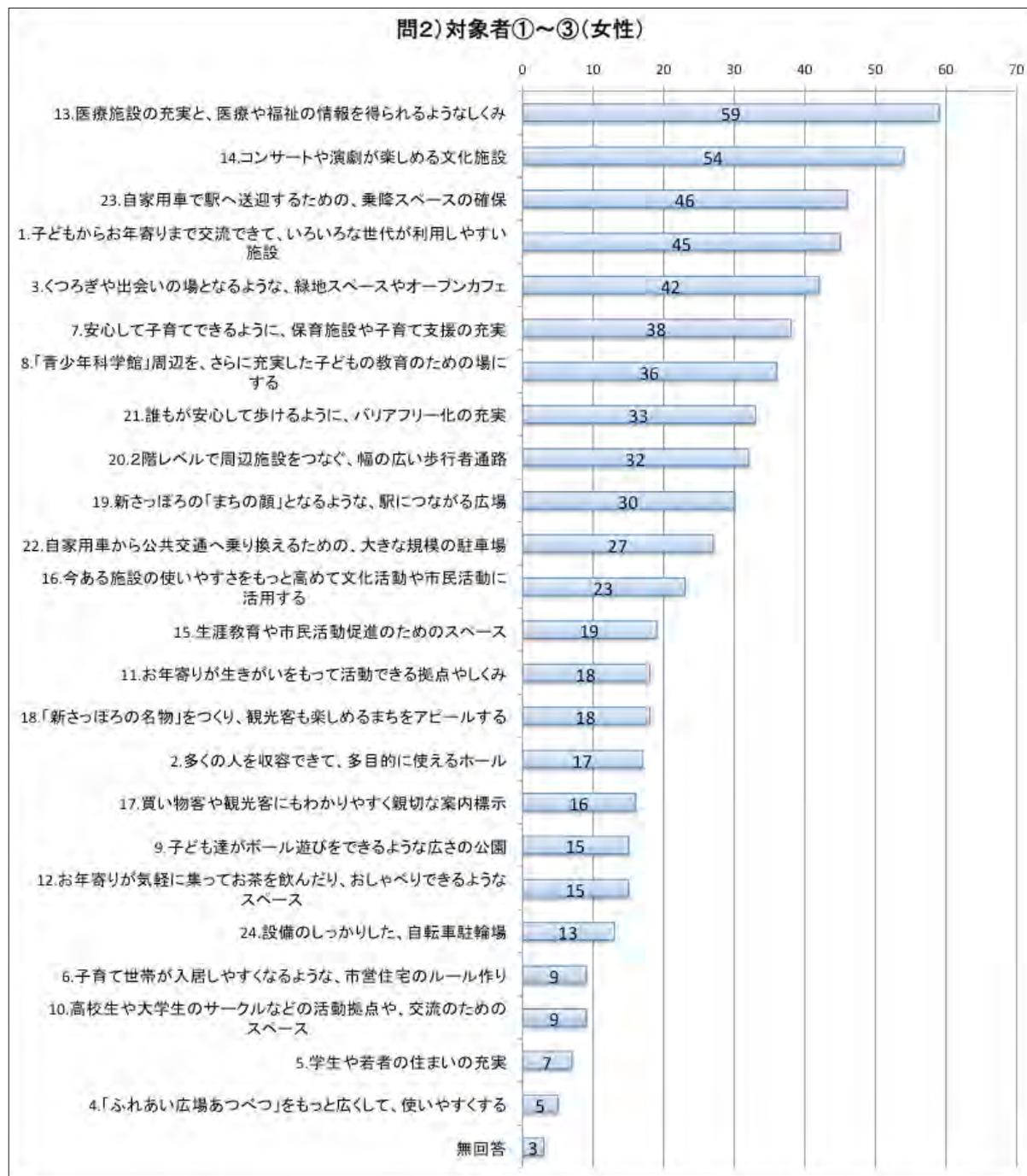
回答者数178人、回答件数合計531件
(3件未回答を含む)



(単位：件)

○女性の集計結果

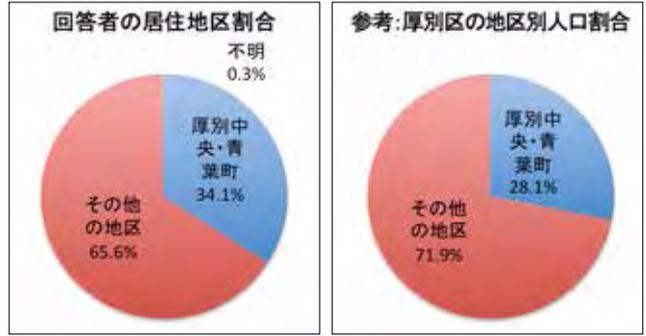
回答者数 211 人、回答件数合計 629 件（3 件未満選択回答を含む）



(単位：件)

【対象者①～③居住地区別の集計結果】

対象者①～③の回答について、対象地区が含まれる厚別中央地区・青葉町と、その他の地区に分けて集計した。厚別区の地区別人口割合と比較すると、厚別中央地区・青葉町の回答者の割合がやや多くなった。厚別中央地区・青葉町では、「医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなくみ」が最も多く、その他の地区では、「コンサートや演劇が楽しめる文化施設」と「自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保」が最も多く選択された。



○厚別中央・青葉町居住者の集計結果

回答者数133人、回答件数合計389件
(3件未満選択回答を含む)

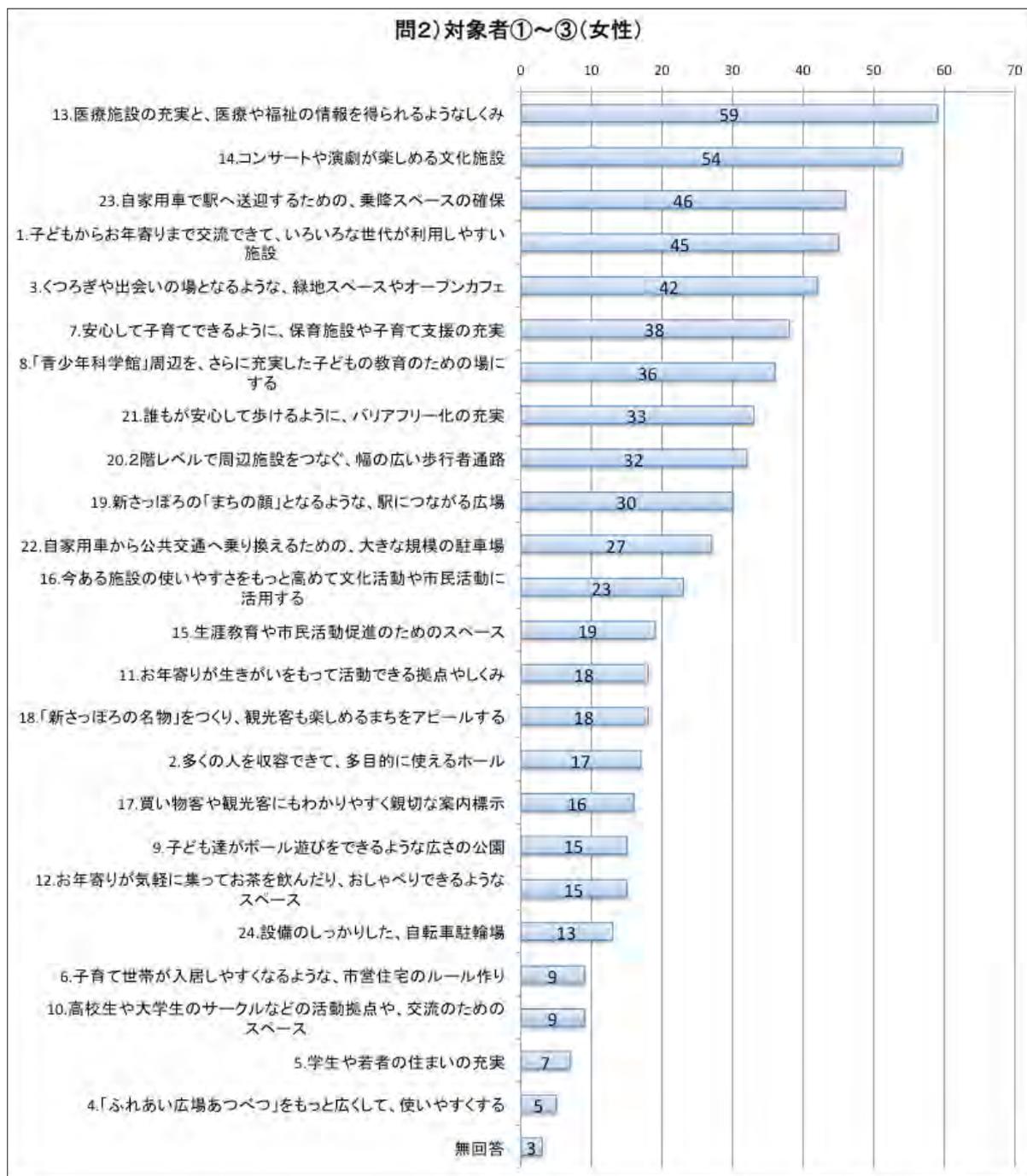


(単位：件)

○その他の地区の集計結果

回答者数 256 人、回答件数合計 771 件（厚別区以外の市区町村 3 人 8 件を含む）

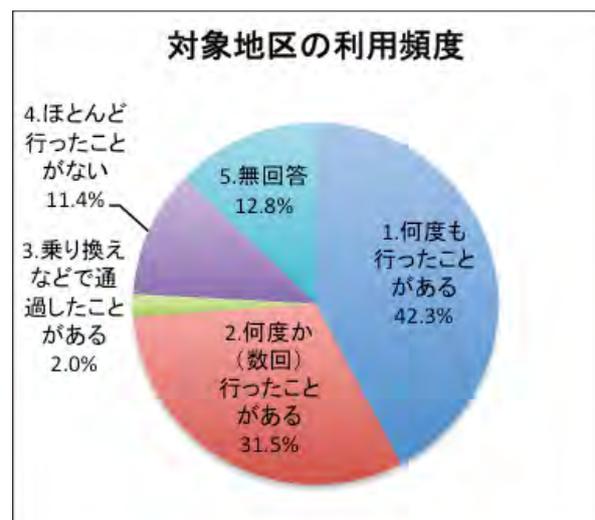
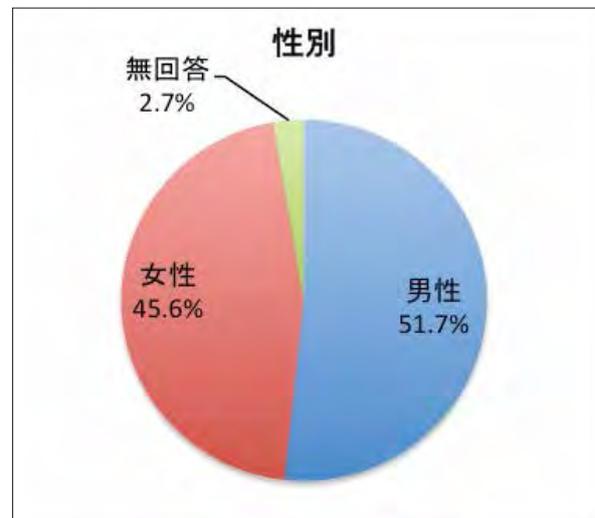
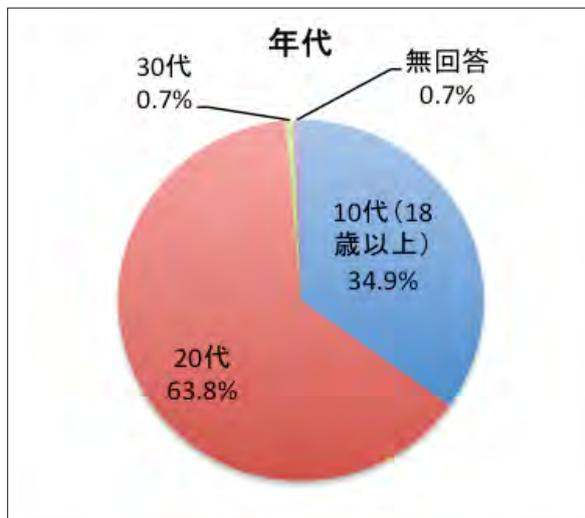
（3 件未満足回答を含む）



(単位：件)

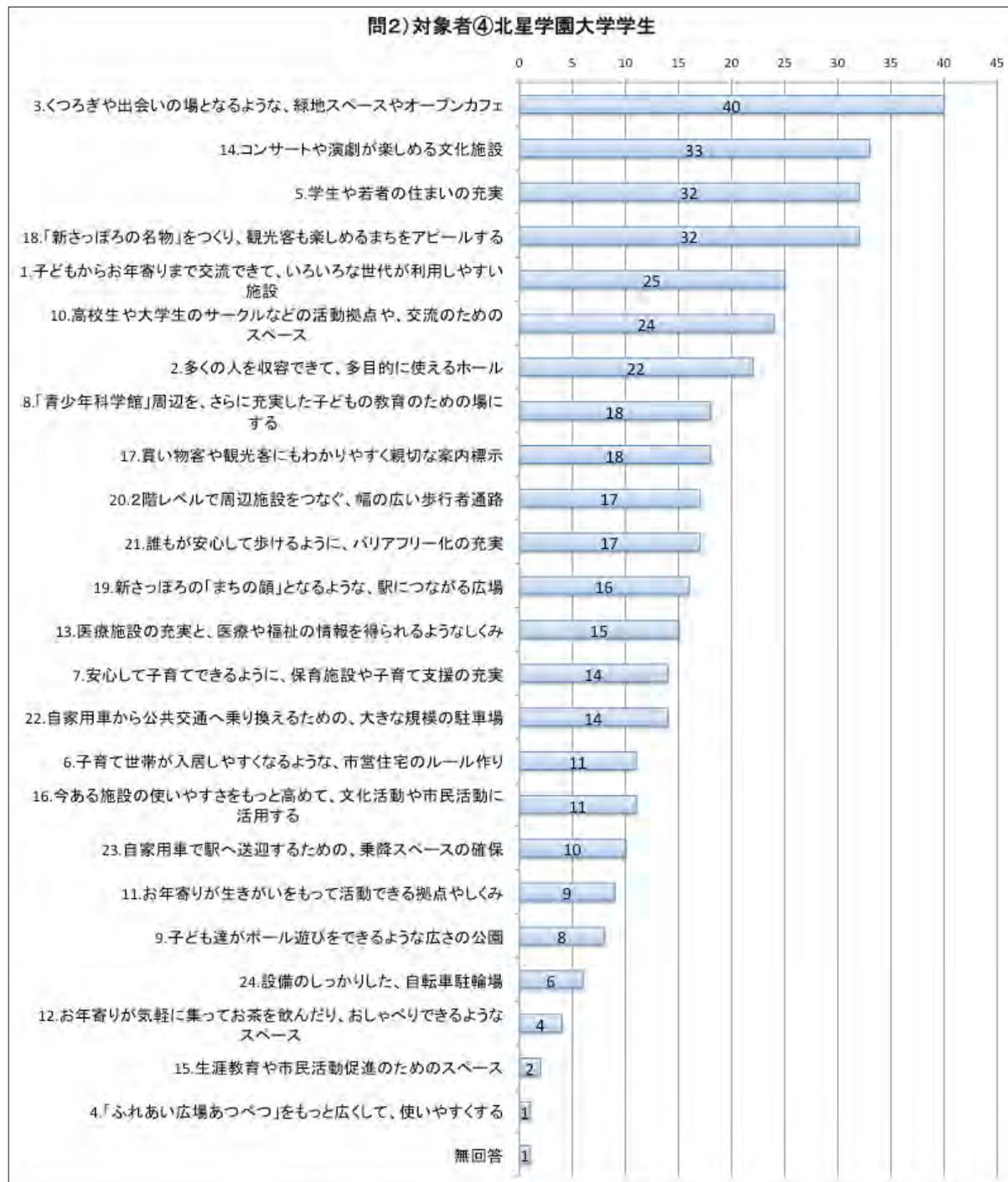
【対象者④の結果】

対象者④では、年代は大学生のためほとんどが20代以下で、性別は男性がやや多い。居住地区では「その他の市区町村」が84.6%と高く、対象地区の利用頻度では「何度も行っただことがある」が42.3%と半数以下であった。問2の回答では「くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ」「コンサートや演劇が楽しめる文化施設」「学生や若者の住まいの充実」「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする」「子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設」の順に多く選択された。



○対象者④の集計結果

有効回答数 134 人（無効回答 15 人）、回答件数合計 399 件



※3項目以上選択した回答は、無効とした（単位：件）

⑤ パブリックコメント

(1) パブリックコメントによる意見募集実施の概要

平成27年1月8日(木)に、新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画(案)を公表し、同日から2月6日(金)までの30日間、パブリックコメントによりご意見を募集しました。

募集期間中に寄せられたご意見については、意見の概要とそれに対する札幌市の考えを取りまとめ、計画に反映できるものは、計画内容を変更しました。

① 意見提出者

意見提出者数	意見総数
36人	71件

※項目数は53件(重複は18件)

② 年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
人数	0	2	3	4	5	8	9	5
件数	0	3	11	14	6	13	15	9

③ 居住地内訳

居住地	厚別区	市内他区	道内他市町村	道外	不明
人数	29	2	2	1	2
件数	55	7	2	4	3

④ 提出方法内訳

方法	ホームページ	郵送	FAX	メール	持参
提出者	7	27	0	2	0
構成比(%)	19.4	75.0	0	5.6	0

⑤ 資料の配布場所

- ◆札幌市役所本庁舎 【7階】市街地整備課 【2階】市政刊行物コーナー
- 各区役所:総務企画課広聴係 厚別区各まちづくりセンター 札幌市公式ホームページ
- 地下鉄新さっぽろ駅 JR新札幌駅

⑥ 意見の内訳

分類	件数	構成比(%)
第1章 計画策定の背景	3	4.2
第2章 まちづくりの現状	1	1.4
第3章 まちづくり方針	61	86.0
まちづくりに関する意見	1	1.4
その他	6	7.0

※新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画(案)の構成に沿って分類

分類	件数	構成比(%)
計画全般	4	5.6
土地利用(機能集積)	36	50.7
全般	16	37.5
I街区	11	34.4
G街区	9	28.1
歩行者ネットワーク	17	24.0
暫定駐車場	4	5.6
JR	3	4.2
その他	7	9.9

(2) 意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

以下では、お寄せいただきましたご意見の概要について、札幌市の考え方を示します。

●計画全般			
No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え方
1	第1章 ⑥ P 10	計画期間は10年間と言わずスピード感を持って取り組んでほしい。	札幌市の長期総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」に基づき、計画期間は10年と定めておりますが、市営住宅余剰地や札幌副都心開発公社が所有する暫定駐車場の開発については、可能な限り早期の開発に努めます。
2	第3章 ⑤ P 49、61	歩行者ネットワークの矢印の色が抜けているなど、誤解を招く表現は避けるべき。また、事業主体が決まっていなければ、計画は理想的イメージであることはやむを得ないので、方針図や計画図の中で歩行者ネットワークや公園、緩衝空間などのイメージをもっと明確にし、その上で「変更要素を含む」と表現したほうが、立案者の構想が伝わりやすい。	当計画は、今後のまちづくりの方向性を示すものとしております。そのため、実現に向けた検討を進める中で変更の可能性はあると認識しております。 なお、いただいたご意見を参考に、まちづくり方針図・計画図において以下のとおり修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・地下・地上・2階レベルの歩行者ネットワークが分かりやすいよう、矢印の色を修正しました。 ・地下鉄コンコースや既存の地下鉄出入り口などの凡例を追加しました。 ・JR新札幌駅に重なっていた矢印を、施設名等の文字が読みやすいように、またネットワークのイメージが伝わりやすいように修正しました。 ・その他、文字の大きさ等を修正しました。
3	第3章 ⑤ P 49、61	図の表現を向上するべき。資料の印象として、全般に冗長な印象を受ける。もう少し密度を高めてページを削減できると思う。	
4		全体的に静的なデータが多かったため、動的なデータも記載すること、また日本各地の成功事例や分析結果があると良いと思う。	本計画策定にあたっては、地域の方々とのワークショップ、また学識経験者を中心とした検討委員会において、当地区における過去のまちづくり計画や、各地の様々な事例などを基に検討を進めてきたものであり、計画の内容が端的にご理解いただけるよう取りまとめたものです。
●土地利用（全般）			
No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え方
5	第3章 ⑥ P 51、55	体育施設としては区の体育館があるが、需要を満たせる規模ではないため、駅直結のスポーツクラブを作してほしい。	
6	第3章 ⑥ P 51、55	図書館、おしゃれなカフェ、学生向けの勉強スペース、岩盤浴、新しいファッションビル、映画館、イベントホール、施設の案内センター、アウトレットモール、室内公園、美術館、多世代利用可能なスポーツ施設、北海道にない飲食店などを作り、観光スポットになるようにしてほしい。	市営住宅余剰地G・Iの機能集積に向けては、民間企業による開発を目指して、提案を公募するプロポーザルを行うことを検討しております。 プロポーザルにおいては、それぞれのエリアコンセプトに基づき、広く提案を募集する予定です。 提案される具体的な立地機能については市場性が考慮されると思われませんが、その中から地区にとって最適な開発を行っていただける提案を採択する予定です。
7	第3章 ⑥ P 51、55	ネットカフェのような施設がほしい。	
8	第3章 ⑥ P 51、55	他地区に比べて機能は集積されているが、購買力が足りないため、子育て支援機能と併設したタワーマンションのような住居機能を優先的に設けるべき	

No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
9	第3章 ⑥ P 53、56	緑が少ないため、小公園を設けたり、それが無理なら歩道の街路樹を工夫して、名所になるような並木道を何本も作ってほしい。	市営住宅余剰地G・Iについては、各エリアのコンセプトに基づいた開発を目指しますが、公園等の配置については、地区全体の状況も踏まえ引き続き検討いたします。
10	第3章 ⑥ P 53、56	副都心としての位置づけを図るのであれば、役所機能の一部を千人単位で移し、日中の人口を増やし、民間が進出しやすい環境を整えるべき。	当地区は、昭和47年に策定された「厚別副都心開発基本計画」に基づき、計画的に公共施設の集積が図られました。本計画においては、「ちあふる・あつべつ」以外の公共施設の記載はありませんが、余剰地への多様な機能集積による交流人口や居住人口の増加を目指しておりますので、頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
11	第3章 ⑥ P 60、61	税金を使わずに、世界（日本・北海道・札幌）で新さっぽろにしかないものを作る意気込みで臨んでほしい。	当地区のまちづくりにおいては、ちあふる・あつべつの設置やふれあい広場の整備など一部公共施設整備を検討しておりますが、基本的には、利活用に関する提案を公募するプロポーザルを行い、民間活力を最大限に生かしていただきながら開発を進めることを想定しています。
12	第3章 ⑥ P 60、61	朝のバスターミナルは、混雑しているため、降車帯だけでも増やしてほしい。	新札幌バスターミナルの運営は（株）札幌副都心開発公社が行っておりますので、同社へ情報提供いたします。
13	第3章 ⑥ P 60、61	冬場の歩行環境、高齢者の視点等も考えて流雪溝を整備してほしい。	流雪溝は、水源や流末などの物理的な条件を満たす必要があるほか、建設に多額の費用を要することから、今後新たな施設整備は予定していません。
14	第1章 ④ P 6	改修後入居なしの札幌市エレクトロニクスセンターの実情から、副都心とテクノパークの利便性を高めて相互利用を考えてほしい。	新さっぽろ駅周辺地区は、地下鉄の始発駅（ゲートウェイ拠点）として位置づけられており、周辺の機能集積などを意識したまちづくりの推進に努めるとともに、市営住宅余剰地の開発による波及効果を生むことができるよう努めておりますが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。
15	第1章 ④ P 6	開拓の村までの遊歩道や幌馬車など、新さっぽろを起点として、観光客の発着点となるような工夫が必要。	
16	第3章 ② P 41	「多様な世代が住むまちづくり」に向けて、ソフト面の取り組みも検討すべき。	まちづくりを進めていくうえで、多様な世代の交流を促進するソフト面の取組等について検討していきます。

No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
17	第3章 ④ P 44 ⑥ P 51、55	魅力的な街並みを形成するとともに、景観・騒音、交通・日照など、近隣への配慮も必要。	<p>市営住宅余剰地G・Iの利活用にあたっては、既存の街並みと調和した質の高い魅力ある都市空間の形成を目指し、地区の活性化やにぎわいを創出する景観形成に努めるとともに、新規開発の誘導に際しては、公募型プロポーザル方式による提案募集を検討しており、周辺環境への影響についても考慮した計画を誘導するよう検討します。</p> <p>なお、いただいたご意見を参考に以下のとおり修正しました。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>P 51・①民間活力の導入・機能集積 (I 街区)</p> <p>【修正前】 北エリアにおける土地利用のコンセプトに基づき、主に地区の交流人口の増加などを目指した新たな魅力を創出するため、商業機能を中心とした多様な機能集積を目指し、<u>公募型プロポーザル方式による提案募集を検討します。</u></p> <p>【修正後】 北エリアにおける土地利用のコンセプトに基づき、主に地区の交流人口の増加などを目指した新たな魅力を創出するため、商業機能を中心とした多様な機能集積を目指します。 また、<u>公募型プロポーザルによる提案募集を検討し、周辺環境への影響等に考慮した機能集積を目指します。</u></p> <p>P 55・①民間活力の導入・機能集積 (G 街区)</p> <p>【修正前】 南エリアにおける土地利用コンセプトに基づき、主に地域特性の強化を目指し、既存の魅力を向上するため、文化・教育機能を中心とした多様な機能集積を目指し、<u>公募型プロポーザルによる提案募集を検討します。</u></p> <p>【修正後】 南エリアにおける土地利用コンセプトに基づき、主に地域特性の強化を目指し、既存の魅力を向上するため、文化・教育機能を中心とした多様な機能集積を目指します。 また、<u>公募型プロポーザルによる提案募集を検討し、周辺環境への影響等に考慮した機能集積を目指します。</u></p> </div>
18	第3章 ⑥ P 52、56	高さ制限の見直しによって、高層複合ビルの開発を可能にし、都市のスプロール化を防ぐべき。他都市に比べ、新さっぽろ・都心部共に高さ制限が厳しいと感じる。	札幌市では、秩序ある街並み形成を図る観点から、用途地域や容積率に応じて高度地区による高さ制限を定めており、新さっぽろ駅周辺の商業地域の一部については、土地の高度利用を図るため、現在、高さ制限は定めていません。
19	第3章 ⑥ P 52、56	JR琴似駅のような、公共交通直結のタワーマンションが立地できるよう、高さ制限を見直すべき。 (類似意見1件)	市営住宅余剰地の利活用にあたっては、周辺環境への影響について考慮しながら、本まちづくり計画に基づいた多様な機能集積及び高度利用が図られるよう、土地利用計画制度の適切な運用を検討します。

● 土地利用（I街区）			
No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
20	第3章 ⑥ P 51	I街区に大型商業施設を設けた場合、交通が混雑する。青葉通側はバス路線が集中しているため、原始林通や南郷通からの主動線を検討すべき。それが不可能であれば、高層住宅機能を中心とした複合開発にすべき。	I街区への機能集積に向けては、土地利用計画制度の適切な運用並びに公共交通機関の利用促進などを検討し、可能な限り交通混雑の緩和に努めます。
21	第3章 ⑥ P 51	新さっぽろはサンピアザ・ダイエー・カテプリなどがある。北エリアは商業・業務機能の集積とあるが、既存商店街が衰退する可能性があるので似たような施設を増やす必要はない。	<p>I街区を含む北エリアについては、商業・業務・新規開発ゾーンと位置付け、主に拠点・にぎわいの創出やコミュニティ機能の向上などが求められます。</p> <p>I街区の機能集積に向けては、民間企業による開発を目指して、提案を公募するプロポーザルを行うことを検討しており、「既存の商業機能に多様性が付加される商業機能」を中心に広く提案を募集する予定です。</p> <p>提案される具体的な立地機能については市場性が考慮されると思われませんが、その中から地区にとって最良な開発を行っていただける提案を採択する予定です。</p>
22	第3章 ⑥ P 51	I街区に他地区にはない特色のある商業施設を誘致してほしい。	
23	第3章 ⑥ P 51	周辺市区町村や学生の利用が多いことから、I街区には人が集える場所、滞在できる空間が必要。他市のような民間企業と連携した魅力ある図書館機能を移設し、日中はお年寄り、夜は学生やサラリーマンが使用できるように工夫すべき。	
24	第3章 ⑥ P 51	当地区は、飲食店モールは長続きしないので、I街区への機能導入の際には要注意。本来はA駐車場にそのような機能があるべきと思う。	
25	第3章 ⑥ P 51	I街区にはボランティアに運営させる街の野草園を開設し、都会育ちに不足している知識の普及を目指してほしい。	
26	第3章 ⑥ P 51	中央体育館の整備が進捗しないことを踏まえ、I街区に市のスポーツのメッカを形成してはどうか。米国のマディソン・スクエア・ガーデンのように、少ない土地で効率的に機能集積してほしい。公共交通も充実し、宿泊施設もある当地区には望ましいのではないかと。	<p>I街区を含む北エリアについては、商業・業務・新規開発ゾーンと位置付け、主に拠点・にぎわいの創出やコミュニティ機能の向上などが求められます。</p> <p>I街区の機能集積に向けては、民間企業による開発を目指して、提案を公募するプロポーザルを行うことを検討しております。</p> <p>提案される具体的な立地機能については市場性が考慮されると思われませんが、その中から地区にとって最良な開発を行っていただける提案を採択する予定です。</p> <p>なお、中央体育館は、北4東6周辺地区の再開発事業で整備するため、都市計画決定の手続きを進めているところです。</p>

27	第3章 ⑥ P 51	商業施設は十分なので、I街区には緑地帯や公園を設けてほしい。一部住宅エリアとしても可。	I街区を含む北エリアについては、商業・業務・新規開発ゾーンと位置付け、主に拠点・にぎわいの創出やコミュニティ機能の向上などに向けた開発を目指しますが、公園等の配置については、地区全体の状況も踏まえ引き続き検討いたします。
28	第3章 ⑥ P 51	駐車場は最低でも現状維持することが必要なので、I街区に整備することが必要。(類似1件)	I街区に新たに集積される機能については、法令に基づいた適切な駐車場容量を確保する必要があります。加えて、減少する暫定駐車場B分の容量を確保することなどを検討しています。
29	第3章 ⑥ P 51	Bが駐車場のままであるのは非常にもったいない。I街区の一部に機能を移し、地下鉄7番出口に近接する好立地を生み出し、民間企業の参入を促すべき。	現在暫定的に駐車場として利用されているBについては、Iの一部とともに大街区を形成することなど、より有効的に活用することができるよう検討いたします。

● 土地利用 (G街区)

No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
30	第3章 ⑥ P 55	厚別区の図書館は規模が小さく駐車場も狭い。G街区に企業と連携した、特徴のある図書館を整備してほしい。	
31	第3章 ⑥ P 55	文教ゾーンの魅力アップのため、G街区に博物館活動センターの本設を望む。科学と自然史の融合は非常にめずらしい。海外来訪者にとっても博物館は重要。また、芸術の森美術館のサテライトとしての活用もできるのではないか。	
32	第3章 ⑥ P 55	G街区は、既存施設と重複しない、教育・文化・体験型の施設、または観光を意識した雪やアニメなどの施設が望ましい。	
33	第3章 ⑥ P 55	G街区に、青少年が集まる学校、大学の分校、催しができる会館などを設けてほしい。	
34	第3章 ⑥ P 55	吹奏楽などの活動場所の確保が困難であるため、新さっぽろ地区での多目的ホールの設置を希望する。800席程度、広いステージ、練習室があり、多機能化されて様々な人が訪れる施設を希望する。また、ふれあい広場などの野外ステージと連携できる仕様が望ましい。	
35	第3章 ⑥ P 55	文化・教育ゾーンにおいて、図書館の拡充と共に映画館を設立してほしい。高齢者の外出する機会を増やすとともに、青少年との共存を図れるような街にしてほしい。	

G街区の機能集積に向けては、民間企業による開発を目指して、提案を公募するプロポーザルを行うことを検討しております。

プロポーザルにおいては、「文化・教育」を中心に広く提案を募集する予定です。

提案される具体的な立地機能については市場性が考慮されると思われますが、その中から地区にとって最良な開発を行っていただける提案を採択する予定です。

No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
36	第3章 ⑥ P 53	G街区の基本方針が文化・教育機能の集積であるので、「ちあふる・あつべつ」はG街区に整備するほうが良い。	G街区は、周辺に民間の認可保育所が複数存在しているため、効果的な保育ニーズへの対応等を考慮し、I街区への整備を検討しています。 また、区における子育て支援の中心的役割を担う「ちあふる」の設置目的からも、公共交通機関とのアクセス性に優れたI街区に整備することが最良であると考えています。
37	第3章 ⑥ P 55	文教ゾーンへ来訪する団体のために、大型バスの駐車場を整備してほしい。	G街区に新たに集積される機能については、法令に基づいた適切な駐車場容量を確保するよう求める予定です。 いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。
38	第3章 ⑥ P 55	南エリア全体の駐車場容量が足りないので、G街区に設けてほしい。	

● 歩行者ネットワーク

No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
39	第3章 ⑥ P 53	I街区は公共交通機関との動線として、2Fレベルだけではなく、特に地下レベルで充実するべき。	I街区の開発においては、地区の回遊性を高めるため、空中歩廊などによる2階レベルでの動線、並びに地下鉄コンコースとの接続などを促進いたします。
40	第3章 ③P 42 ⑥P 56	G街区も地下鉄と直結させ利便性を向上させるべき。	G街区の利便性向上に向けては、科学館公園やふれあい広場など地上レベルでの整備を通じて、最寄りの地下鉄出口からのアクセス性向上に努めます。 いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
41	第3章 ③ P 42	地下鉄コンコースと区役所を地下で接続してほしい。(類似14件)	区役所への歩行者動線については、暫定駐車場Cの開発に合わせたエレベーター設置や前面歩道のロードヒーティングなどにおいて強化することを検討しています。 いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。

● 暫定駐車場（株札幌副都心開発公社）			
No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
42	第3章 ⑥ P 52、54、57	副都心開発計画策定後から未だ開発がなされていないA・B・Cも、共に開発の対象とし、市が積極的に開発の検討をするべき。または、思い切って民間に分譲することも検討するべき。（類似意見2件）	暫定駐車場Bについては、市営住宅余剰地I街区とともに大街区化を行い、効果的な開発可能地を生み出すことについて協議・検討を進めております。 同じく、暫定駐車場A・Cについても、まちづくり計画において目指すべき開発の方向性等を記載しておりますので、利活用を早期に実現していただけるよう積極的に働きかけていきます。
43	第3章 ⑥ P 52、54、57	（株札幌副都心開発公社による周辺施設整備の実態として、アクセスが非常にわかりづらくなっているので、新さっぽろ駅周辺の土地開発は、札幌市が主体的に行ってほしい。	
44	第3章 ⑥ P 57	A駐車場を路線バスの待機場にするべき。	Aについては、多様な機能集積及び低層部へのにぎわいや生活利便施設の充実を図ること、また空中歩廊などによる歩行者ネットワークの充実を目指すこととしております。
● JR			
No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
45	第3章 ⑤ P 49	I街区周辺については、JR線の盛土により南北の街が分断されているので、高架化し、テナントを誘致すべき。	鉄道高架及び駅舎整備については、鉄道事業者の判断が必要なことからJR北海道へ情報提供いたします。 また、南北の歩行者ネットワーク、地区の回遊性の観点については引き続き検討を行ってまいります。
46	第3章 ⑤ P 49	JR新札幌駅舎は老朽化が進んでいる。今後の魅力向上も含め、駅舎整備も含めてまちづくりを進めるべき。（類似1件）	
● その他			
No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
47	第3章 ④ P 44	景観について協議をする場を設け、具体的視覚イメージを共有する取組をしてはどうか。	札幌市では、良好な景観形成を図るよう、景観計画を策定しております。 景観計画では景観法に基づき市内全域を「景観計画区域」とし、一定規模を超える建築物等の届出協議を行い地域にふさわしい良好な景観づくりを目指しております。 いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。
48	第2章 ②-2 P 28	清田（特に真栄・美しが丘方面）へのアクセスを強化するべき。中央バスの混雑が激しい。	路線バスの運行経路や運行水準等については、バス事業者において利用者の需要や事業の採算性等を総合的に勘案した上での判断となりますが、利用者のニーズや利用実態など、地域の実情に応じた効率的で使いやすい地域交通ネットワークを構築するための検討を、バス事業者とも連携しながら進めてまいりたいと考えております。

No.	該当箇所	意見の概要	札幌市の考え
49		高齢化が進み、将来的に再開発が必要と思われるもみじ台・青葉町地区へ、新さっぽろ駅を起点とした路面電車を検討すべき。	路面電車については、超高齢・人口減少社会の到来を見据えて、人や環境にやさしい乗り物としてまちづくりに活用していくこととしております。 なお、現在は、将来の需要見込み、地域特性、経営面の課題等を考慮して、「都心地域」「創成川以東地域」「桑園地域」を対象に路線の延伸を検討していますが、いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。
50		新さっぽろ駅周辺地区内の国道12号線の横断歩道（大行寺と重点エリアを結ぶ部分）の青信号が短かすぎる。10秒ほど長くしてほしい。	信号制御等を所管する北海道警察に対し情報提供いたします。
51		他地区から地下鉄で新さっぽろに向かう際、実際の距離は近いのに、中心部を経由するため運賃が高い。実際の距離で金額を設定するか、上限を250円にしてほしい。	札幌市の公共交通ネットワークは、多くの人の移動を支える大量輸送機関を基軸として、市内各地域とその近傍の拠点へのアクセスをバスネットワークにより確保することを基本としております。 なお、地下鉄の乗車運賃については、経営状況等を踏まえるとともに、他の公営地下鉄事業の制度や運賃設定を参考としながら、初乗り1区を3キロまで、以後4キロ毎に区数を設定する対キロ区間制を採用しています。その算定にあたっては、実際の乗車距離に応じて、乗車区間が増すごとに2区は50円、3区は40円、4・5区は30円、6区は20円の加算とすることで、長距離利用者の負担軽減となるよう設定しておりますのでご理解をお願いいたします。
52		意見の処理状況を公開すべき。	皆様からいただいたご意見に対しては、市の考え方を記載した上、資料として本計画書に添付するとともに、市のホームページなどにおいて公表いたします。 なお、いただいたご意見に基づき修正した場合は、その内容及び理由についても併せて記載いたします。
53		市営住宅事業は特別会計として分かり易くすべき。	いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。

※新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画に直接関係のないご意見は記載しておりませんが、関係機関への情報提供を行っております。